

# 石でつくられた見事な仏像

所在地：綾瀬 7-10-18 りゅうけい じ 龍慶寺



## 石造聖観音及び地蔵坐像



地藏坐像



聖観音

龍慶寺(曹洞宗)は、しょうぼう 正保3年(1646)の創建で、かいさん 開山は天宝秀梵、かいき 開基は牛込五郎兵衛と伝わります。

本堂への参道両側の石垣台上に、極めて精巧な彫刻が二体あり、右が聖観音像、左が地蔵坐像です。高さ3メートル程で、まがいぶつ 摩崖仏のように背面に岩を配しており、本体と光背とが小松石の一石からできています。

てんぼう 天保5年(1834)に、千住二丁目で幸手屋というはたごや 旅籠屋を営んでいた神谷万右衛門が祖先供養・家門繁盛・子孫長久を祈願して、千住四丁目のいしく 石工である助七に彫らせて寄進したものです。この像は、寄進者と作者が共に同地区在住であるという点で意義があり、一石に刻まれているという点でも、他にあまり例を見ないところから、文化財に登録されました。

### 文化財豆知識

#### 龍慶寺と水神宮

龍慶寺には、水神宮の碑が立っています。もともとは、龍慶寺からおおよそ西へ200メートルほどのところにあった龍慶寺河岸がしと呼ばれる場所にありました。龍慶寺河岸は、綾瀬川のほとりにあり、水神宮碑は河川の安全を祈るものでした。近年、水害が多くなっていますが、河川の安全を願う気持ちは、昔も今も変わりません。

